

自分でできる週末SEO(検索エンジン最適化)(全6回)

第1回: 作りたてのホームページは孤立無援! 検索にヒットさせるために行うべきこと

執筆: 赤間 公太郎(株式会社マジカルリミックス)

"自分でできる週末SEO(検索エンジン最適化)"のコラムを担当する、マジカルリミックスの赤間です。全6回のこのコラムでは、SEO(検索エンジン最適化)の基本的な考え方をふまえた上で、テクニク的な部分にフォーカスしてお伝えしていきます。

みなさんのホームページがより多くの人の目にとまるように、自分でできる小さなSEOに取り組んでいきましょう。

ホームページが完成!

でも…できたばかりのそのホームページは孤立しています

ホームページが無事完成!さてこれからどんどん更新して、売上や問い合わせを増やそう!

…そんな希望とは裏腹に、完成したホームページは、実は「孤立無援」の状態なのです。ホームページがインターネット上に誕生したならば、そのことを周りにアピールしなければなりません。アピールといっても難しいことではなく、あなたの作ったホームページへと続く「経路」を作ってあげればよいのです。

この経路には、さまざまなものがありますが、例えば、

- Twitterで、ホームページを開設した旨を、ホームページアドレス付きでツイートする
- Facebookで、ホームページを開設した旨を、ホームページアドレス付きで投稿する
- Google+で、ホームページを開設した旨を、ホームページアドレス付きで投稿する
- 知人のホームページやブログに、ホームページのアドレスとともにコメントを入力する

などです。

ポイントは、「ホームページアドレス」の露出です。人がクリックすることはもちろん、Yahoo!やGoogleなどの検索エンジンは、このリンクを「道筋」としてたどります。

このように、リンクを設置して機械的に外部とつながりを持つことが、インターネット上に誕生したばかりの、自分のホームページを知ってもらうための第一歩なのです。

ホームページの健康診断、「ウェブマスターツール」を導入しよう

ホームページを検索エンジンに表示させるには、まずは検索エンジンそのものに、ホームページの存在を知ってもらうことが効果的です。そのために「ウェブマスターツール」と呼ばれるサービスに登録します。ウェブマスターツールの代表的なものは2つ、GoogleとMicrosoftが運営するBingです。

- Google ウェブマスター ツール
- Bing ウェブマスター ツール

ウェブマスターツールは、ホームページの管理者向けのホームページの解析ツールで、誰でも無料で利用することができます。「クローラー」と呼ばれる、検索エンジンの巡回システムの頻度を調整したり、ホームページ全体のリンク切れを

チェックしたり、外部から受けているリンクをチェックしたりできます。

ウェブマスターツールは、言わばホームページの健康診断です。ホームページを作成したら、必ず導入しましょう。

今回は、Google ウェブマスターツールの登録方法を解説します。

Googleのウェブマスターツールに登録してみよう

手順1:Google アカウントを作成

Google ウェブマスターツールに登録するには、「Google アカウント」(無料)が必要です。以下のアドレスから、事前にGoogle アカウントを登録しましょう。

<https://accounts.google.com/SignUp?hl=ja>

手順2:Google ウェブマスターツールにログインする

Google アカウントを作成したら、Google ウェブマスターツールのホームページを開き、ログインします。



アカウント 1 つですべての Google サービスを。

Google ウェブマスター ツールに移動するにはログイン

A login form with a grey background. At the top is a grey circle containing a white person icon. Below it is a text input field containing 'yourgmailaccount@gmail.com'. Underneath is a password input field with seven dots. A blue button with the text 'ログイン' is centered below the password field. At the bottom left is a checked checkbox with the text 'ログイン状態を保持する', and at the bottom right is a link that says 'お困りの場合'.

[アカウントを作成](#)

1 つの Google アカウントですべての Google サービスにアクセス



<https://www.google.com/webmasters/tools/?hl=ja>

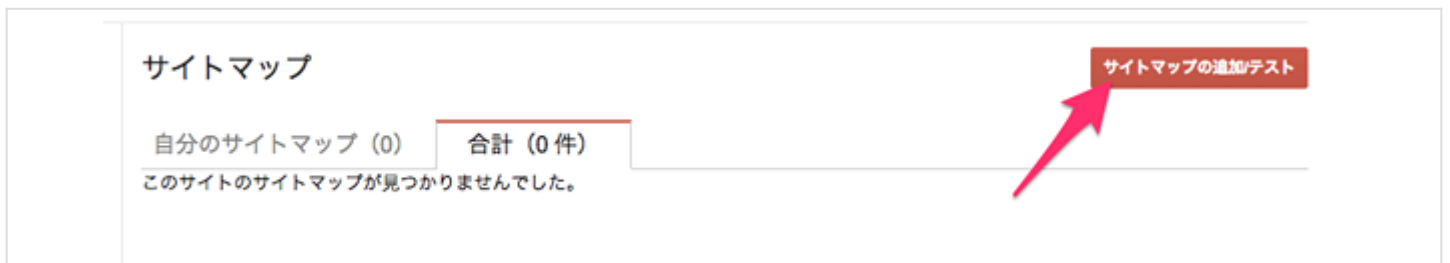
手順3: ホームページの追加

テキスト入力フィールドに、ホームページのアドレスを入力し「サイトを追加」をクリックします。

The screenshot shows the 'Google Webmaster Tools' interface. On the left, there is a section titled 'ウェブマスター ツールへようこそ' (Welcome to Webmaster Tools) with introductory text and a list of features. On the right, there is a video player showing a cartoon character holding a document with a red cross and a wrench. Below the video, there is a text input field containing the URL 'http://benefit-free-pension100.jimdo.com/' and a red button labeled 'サイトを追加' (Add Site). Two red arrows point to the input field and the button respectively.



右上にある赤い[サイトマップの追加/テスト]をクリックして入力エリアを表示し、すぐ下に出る入力のボックスに、「sitemap.xml」と入力します。最後に[サイトマップを送信]ボタンをクリックします。これで、サイトマップの追加が完了です。



あとは、Googleがホームページを巡回してくるのを待ちましょう。

サイトマップとは？

Jimdoでは、すべてのホームページに「サイトマップ」が存在します。ホームページアドレスの後ろに「sitemap.xml」とつけた状態でブラウザでアクセスしてみてください。ファイルが存在するのが確認できます。

例: <http://howtouse.jimdo.com/sitemap.xml>

一見、解読不明なコードに思えますが、Googleをはじめとする検索エンジンは、このファイルを見れば、ホームページ全体を通してどんなページがあるか、どんな構造になっているのかなどを把握しています。サイトマップ(sitemap.xml)は、コンピューターが見るためのファイルなのです。

まとめ

- ホームページを作ったら、Facebook・Twitter・Google+などで、ホームページのアドレス付きで投稿する
- Googleアカウントを取得し、Googleウェブマスターツールに登録する
- sitemap.xmlをGoogleウェブマスターツールに登録する

今回は、「ページと内容を適切に区切って発信することによる、SEO効果」の内容でお届けします。(つづく)



赤間 公太郎(あかま・こうたろう)

株式会社マジカルリミックス 代表取締役CEO/JimdoExpert

<http://www.magical-remix.co.jp/>

<http://www.kotalog.net/>

宮城県出身。IT関連の専門学校を卒業後、仙台のデザイン会社に入社。Webサイトのデザイン・コーディングを中心に従事。2002年退職後すぐに個人事業としてマジカルリミックスを創業。2007年に法人化し株式会社マジカルリミックスを設立。規模を問わずお客様のニーズにあわせたWebサイトの企画立案、制作、アクセスと売上アップをめざした更新サポートまで一貫して手がけている。

また、Web制作だけにとどまらず、社内向けのセキュリティ・IT活用のプライベートトレーニング、セミナー出演、執筆なども意欲的に手がける。全国からの講演依頼も多数。2005年から仙台の専門学校で、非常勤講師としてWeb制作講義を担当。

主な著書に『10日でSEO&アクセスアップ

Jimdoデザインブック』(エムディエヌコーポレーション)『10日で作るカッコいいホームページ

Jimdoデザインブック』(同)『HTML5+CSS3の新しい教科書

基礎から覚える、深く理解できる。』(共著、同)『基礎から覚える、深く理解できる。Webデザインの新しい教科書』(同)。

[所属]

仙台商工会議所 エキスパートバンク登録/みやぎ産業振興機構 専門家アドバイザー/みやぎ工業会正会員